

令和5年度決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和6年6月

鳥取県立博物館

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 勧告事項	
	(2) 指摘事項	
	(3) 監査意見	
	(4) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料	1 3 頁
7	事業別実施状況調べ	1 4 頁
8	予備費の充用調べ	1 5 頁
9	現金の取扱状況	1 6 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	1 6 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	1 8 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)	
12	借受不動産明細調べ	1 8 頁
13	職員駐車場の管理状況調べ	1 8 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	1 9 頁
15	備品の処分状況調べ	2 0 頁
16	貸付金等状況調べ	2 2 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
17	博物館運営	2 3 頁
	(1) 管理運営	
	(2) 利用状況	
18	博物館資料保有状況	3 9 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 勧告事項
該当なし

(2) 指摘事項
該当なし

(3) 監査意見
該当なし

(4) 決算審査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和6年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該年度	5.4.1現在	当該年度	5.4.1現在	当該年度	5.4.1現在	当該年度	5.4.1現在	
定員	6	4	12	19	0	0	18	23	
現員	() 6	() 4	(1) 12	() 18	() 0	() 0	() 18	() 22	育児休業1名
過不足(△)	0	0	0	△ 1	0	0	0	△ 1	
臨時的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	6	4	35	39	3	3	44	46	・事務6名（一般事務4名、事務補助1名、複写機オペレーター1名） ・技術38名（史料補修専門員2名、資料管理専門員1名、植物標本専門員1名、広報・普及専門員1名、受付5名、看視員25名） ・現業3名（警備員3名）

4 役付職員の調べ

(令和6年6月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
館長	漆原 芳彦	2	2	通算勤務期間 7年2月
副館長兼総務課長	藤原 浩	3	2	出納員 継続勤務期間 6年2月
学芸課長	川上 靖	3	2	継続勤務期間 23年2月
総務課課長補佐	山本 哲慎	1	2	
総務課課長補佐	桑本 英明	1	2	
総務課課長補佐	諸遊 祐介	0	2	
主幹学芸員	一澤 圭	3	2	継続勤務期間 19年2月
主幹学芸員	福代 宏	10	2	継続勤務期間 30年2月

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源
企画展開催費	77,925	0	0	12,434	65,491
将来ビジョン					
令和新时代創生戦略	大項目 中項目 小項目 SDGsゴール (04質の高い教育をみんなに)				
政策項目					

1 事業の目的、概要

鳥取県の自然、歴史・民俗、美術分野の資料、作品、研究成果等や世界的・全国的に貴重な作品等について、広く県民に紹介する企画展を開催する。

2 事業の内容、実施の状況

【企画展「ノーベル賞受賞100年記念 アインシュタイン展」】

○当該企画展に係る決算額 (単位：千円)

	事業費	左の内訳	
		入館料収入等	一般財源
予 算 額	22,630	7,080	15,550
決 算 額	22,630	7,081	15,549

(1) 目的及び事業の実施状況

ア 目的

20世紀最高の物理学者である、アルバート・アインシュタインが解明した4つの科学理論について、体験装置やゲーム、科学玩具、最新映像技術を駆使し、子どもから大人まで楽しみながら学べる展示とした。

また、アインシュタインの手紙や資料、幼少時の挫折体験や晩年の平和活動、ユニークな名言などアインシュタインの深みのある人間性も紹介した。

イ 事業の実施状況

- ・当館独自のアイデアとして、「クイズラリー」と「名言カード」を配布したところ大変好評であった。(クイズラリーに参加した小学生以下のこどもには缶バッジをプレゼントした。)
- ・体験型展示の中でも、「光の粒で電子を飛ばそう!」「爆弾解除!光速サイクリング」の2件は特に人気が高かった。
- ・展示を監修した名古屋市科学館の山田主任学芸員、大阪市立科学館の西野学芸員、上羽学芸員にそれぞれ講演会やイベントを依頼した。また、ミニプラネタリウムでは鳥取市のさじアストロパークと、アインシュタインに関する図書コーナーや読み聞かせでは鳥取県立図書館に協力していただいた。いずれも来館者に好評であった。

会 期	入館者数	目 標
令和5月7月1日(土)から8月27日(日)まで 58日間 ※うち休館日は6日間	23,731人	11,000人

うち有料入館者数：9,627人(入館者数の41%)

(参考) <入館者の地域別割合>アンケート回答者

地 域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数[人]	1,314	225	239	355	0	2,133
割合[%]	61.6	10.5	11.2	16.7	0.0	100

(2) 令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・本展に関連する当館の収蔵資料を展示（前田寛治のアインシュタイン肖像、金製品、忍石、藻類標本）し、単なる巡回展ではなく、当館にも関連資料があることを示した。
- ・クイズラリーを実施することで、体験型展示に観覧者が集中するのを分散させ、全体を周遊してもらうようにした。
- ・展示監修者や県立図書館、鳥取市さじアストロパークなど外部の協力を得て、関連イベントを盛り上げた。（ミニプラネタリウムは環境立県推進課から借用した。）

(3) 成果及び効果

- ・大阪での巡回展で子どもたちが体験装置をしている動画を広報（テレビCM）に使用したことで、来館者のイメージが沸きやすかったこと、新型コロナの5類移行に伴い、外出制限のない夏休みとなったことなどを要因として入場者数が多くなったと考えられる。
- ・来館者アンケート（2, 133件、回答率9%）では、大変よかった・よかったと回答された方が99.5%（大変よかった65%・よかった34.5%）であり、来館者の満足度は極めて高かった。
- ・夏季開催ということで、子どもたちが科学に興味を持つきっかけづくりとして、舌を出した顔写真が有名な「アインシュタイン」をテーマに設定し、難解な物理学を体験型展示でわかりやすく伝えることに焦点を絞って展示構成を作り上げた。ポスター、チラシの広報効果も大きく、前売り券もほとんど売り切ることができ、関心の高さがうかがえた。
- ・学校や幼稚園の行事で来館していただけるよう、夏休み前の7月1日を開幕日とした。また、夏休み期間中には放課後児童クラブに案内文書を送付した。その結果、52の学校等団体の利用があり、学校等の博物館利用を促進することができた。

<入館者の満足度等>アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・展示だけでなく、体験して遊べるものもあって楽しく学ぶことができました。
- ・大人も興味が持てる内容で子供向けに分かり易く説明してありよく理解できました。
- ・アインシュタインという名前は知っていても何をしてノーベル受賞されたのか知らなかったので良い機会でした。
- ・普段ふれることがない物理や宇宙の話を知ることができてよかったです。
- ・鳥取に関わるものもあった。（※前田寛治が描いたスケッチ）
- ・アインシュタインと日本のかかわりが分かって興味深かったです。
- ・各ブースに、係の方がおられ、ていねいに説明していただけて、わかりやすく学べた。
- ・小学生には読めない文章が多かった。ふりがながあれば良いと感じた。
- ・私は、「知るよるこび。それは自然界からの最大のおくりものです」という言葉が好きです。
- ・毎回クイズが楽しみで、今回もワクワクしながら楽しめました。クイズがあることで、より集中して見られてよかったです。今回は体験型ということで、過去の企画展よりも全身で楽しむことができました。

(4) 課題

- ・展示パネルのルビがないことへの改善要望があった。設定している年齢層よりも低い年齢の児童に対して解説の補助をする工夫が必要と考えられる。
- ・人気が高かった「老け顔アプリ」が体験中に停止してしまうことが度々あった。ソフトウェアのアップデート後にみられた現象のようで、展示制作者でも対応が難しく、体験できずに残念がる観覧者が多かった。

【企画展「勾玉の世界」】

○当該企画展に係る決算額

(単位：千円)

	事業費	左の内訳	
		入館料収入等	一般財源
予算額	17,907	1,439	16,468
決算額	17,877	1,439	16,438

(1) 目的及び事業の実施状況

ア 目的

この企画展は、当館が所蔵する重要文化財の子持勾玉をはじめとする勾玉の歴史や、アクセサリーとしての役割以外にも権威の証であったり、祭祀の道具であったりといった多様な用途に応じた様々な素材や形、大きさのものがある等の、勾玉の多様性を紹介した。

イ 事業の実施状況

展示品は、東は関東・北陸から西は沖縄・九州北部、そして一部は朝鮮半島にまで及ぶ各地の勾玉を集め、勾玉の歴史や当館所蔵の重要文化財子持勾玉をはじめとする勾玉の多様性や作り方を展示により紹介した。会期中の週末は合計8回にわたり勾玉づくりを開催した。参加者は延べ146人であり、いずれも盛況であった。

会 期	入館者数	目 標
令和5年10月7日(土)から11月12日(日)まで 37日間 ※うち10月23日は休館	3,840人	5,000人

うち有料入館者数：1908人(入館者数の50%)

(参考) <入館者の地域別割合>アンケート回答者

地 域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数[人]	99	11	11	52	0	173
割合[%]	57.2	6.4	6.4	30	0	100

(2) 令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・展示品の多くが小さいため不要となる壁ケース上部の余白をカットするため、壁ケース上部をフィルムで覆って自然に視線が下がるように工夫した。
- ・良質なヒスイ本来の色調をみるための透過光と、勾玉の形状をみるための反射光を交互に当て、ともに鑑賞できるようにした。
- ・重文字持ち勾玉の同形・同大・同じ重量の複製品を作成して本物の重量感を体感できるようにした。

(3) 成果及び効果

- ・戦後、琴浦町内で見つかり文化財保護委員会の所管となったのち所在不明となっていた子持勾玉が、企画展の調査の過程で所在が明らかとなり、明治時代に東京へ行った勾玉と共に初めて県内に里帰りを果たした。
- ・会期中、県内在住の一般の方々からの勾玉等の持ち込み相談が複数あるなど、身近な資料の見直し、掘り起こしの機運の醸成が図られたと思われる。

<入館者の満足度等>アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・いろいろな勾玉があって見るのがとても楽しかったです。勾玉の展示が工夫されてよかったです。
- ・案内の勾玉が多く初見もあり、見応えがありました。
- ・観覧料の割に展示がいまひとつ。
- ・暗い、文字が小さい、展示が低い、説明が少ない、展示用の台が古くきたない、県内出土のものだけでも地図が欲しい。でも人が少なくゆっくりみえた。

(4) 課題

- ・開幕までは借用、展示作業、開幕後は解説板の補充やイベントや来館者対応等で図録作成が後回しとなり図録の発行が大幅に遅れた。今後は役割分担の見直し等を行い、全体の遅れが生じないようにしていきたい。

【ミュージアムとの創造的対話 vol. 4 ラーニング／シェアリング 共有から未来は開くか？】

○当該企画展に係る決算額

(単位：千円)

	事業費	左の内訳	
		入館料収入等	一般財源
予算額	18,070	2,470	15,600
決算額	18,070	2,471	15,599

(1) 目的及び事業の実施状況

ア 目的

ミュージアムを巡る問いを契機に、国内外の優れたアーティストによる実験的で多彩な表現を展示室の内外に展開させることで、思考を促し、人やモノ、場との対話を重ねながら、その現代的な意味を探る。

イ 事業の実施状況

- ・今回は、「ラーニング／学ぶこと」と「シェアリング／共有すること」をテーマに、リクリット・ティラヴァニ、小沢剛／ヤギの目、高山明／Port Bの3組の作品を通じて、従来の美術教育にはとどまらない「第3の学びの場」としてのミュージアムの可能性についての考察を促すことを試みた。
- ・マクドナルド社の全面的な協力を得て、全県下のマクドナルド店舗に高山明氏の作品を設置、展示し、中西部地区の鑑賞環境を整備した。
- ・ギャラリートーク、特別講演会等の関連企画を全4事業実施し、様々な切り口で作品や展覧会へのアプローチする機会を提供した。

会 期	入館者数	目標
令和6年11月26日(日)～12月28日(木) 33日間 ※うち12月11日は休館	2,742人	6,000人

(参考)

<入館者の地域別割合>アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	34	4	4	5	0	47
割合[%]	72.3	8.5	8.5	10.7	0	100

(2) 令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・視覚的な鑑賞だけではなく、参加や体験を通じて作品と関わる展示を行い、来場者には現代アートへの親しみを感じさせながら、通常のアート展とは異なる新鮮さを演出した。
- ・作品を体験するためのルールや仕組みについては、看視員による説明により、わかりやすく来場者に参加してもらえるように心がけた。
- ・館外での展示に足を運んでいただくために、館内エントランスホールにブースを設置、看視員を配置し、作品の説明や展示場所の詳細を案内するようにした。
- ・公開制作の参加型プロジェクト作品（ヤギの目）については、小屋の進捗を知らせるために独自メディア（インスタグラム）を広報および交流ツールとして用い、毎日の作業の様子をアップするなど発信に力を入れ

(3) 成果及び効果

- ・身構えることなく体験しながら現代アートに触れる展示により、なじみのない方々でもアートに親しみを持つ機会となった。会場での来場者の様子やアンケートから「場を共有する」ことの楽しさや重要性を来場者に体感的に伝えることができたように思われる。
- ・「ヤギの目」のプロジェクトでは、約50名の有志の方々が、小屋の制作やヤギの餌やりなどをサポートするなどの深い関わりを持つようになり、リピーターとして何度も会場に足を運び作業の手伝いに従事する方もみられた。
- ・高山明氏の鳥取県内在住者との協働による新作やリクリット・ティラヴァニ氏のトートバッグの新作など、鳥取でしか体験できない作品として、展覧会の目玉となり話題をよんだ。

<入館者の満足度等>アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・体験型アートで子どもにかえった様に遊んでしまいました。色々な所で体験型アートが増えていき、これから先の未来の子供たちが色々な感性を感じとれてよいと思う。私の子供のころにもあったら、未来が違ったのかも。
- ・博物館の概念がわかりました。声を出して走って良いんだ。卓球、ヤギもかわいかったです。
- ・スタッフの方や公開制作をしていた芸大の学生さんなど、いろいろな人と話すことができたのでとても面白かった。
- ・空間を広々と使うなど、博物館のスペースの使い方が興味深かった。
- ・展示(作品数)が少なかった。見るものがあまりなかった。展示の説明等、少し分かりにくかった。

(4)課題

- ・来場者にはかねがね好評であったが、展覧会の内容が伝わりにくく、広報面での苦戦があった。キャッチーなタイトル設定や、メインビジュアルなど、改善や工夫の余地があったように思われる。残念ながら来場者数目標には達成しなかった。
- ・体験型のプロジェクト作品のプロセスを共有する方法を検討、実施できなかったため、今後このような作品に取り組む際には、計画段階からどのように周知や公開を行い、記録を行った行くかを詰めたうえで実施にとりかかる必要があるだろう。
- ・マクドナルド店舗によっては、作品の展示が行われていなかった店舗(日吉津イオン内のマクドナルド)があったことが、来場者からの苦情の電話で明らかになった。遠方であるため毎日作品の状態をチェックすることができない場合、その対処法を確認しておく必要があった。
- ・館外展示の来場者数がカウントできず、また鑑賞者のリアクションがわからなかったため、オンラインでのアンケートなど、新たなシステムの導入を検討したい。

【生誕200年 根本幽峨 NEMOTO Yuga —近世鳥取画壇の「黄金時代」最後の華—】

○当該企画展に係る決算額 (単位：千円)

	事業費	左の内訳	
		入館料収入等	一般財源
予算額	18,790	413	18,377
決算額	18,712	1,444	17,268

(1) 目的及び事業の実施状況

ア 目的

幕末の鳥取藩絵師である根本幽峨の生誕200年を記念する初の大規模回顧展として幽峨の画業を顕彰し、作品を展覧して広く県民に紹介するとともに、幽峨の史的 position を明確化することを目的とした。

イ 事業の実施状況

- ・初公開の作品を交えつつ、画業初期から晩年に至るまでの代表作、資料を一堂に会し、幽峨の生涯を通じた画業を紹介した。
- ・「黄金時代」とも称された江戸後期から幕末にかけての鳥取画壇の展開を踏まえて、過渡期的な時代を生きた幽峨が後世の鳥取画壇に与えた影響についても明らかにした。
- ・本年度に県指定文化財に指定された「琴棋書画図」を指定後初公開したほか、計3件を修復後初公開した。
- ・現在まで当館が行ってきた幽峨の調査研究と作品収集成果を踏まえ、それらより得られた新知見を反映して図録にまとめ、刊行した。
- ・特別講演会、ワークショップ、ギャラリートーク等の関連企画全6事業を実施し、様々な年齢層に向けて、幽峨の画業と作品の理解を深める機会を提供した。

会 期	入館者数	目標
令和6年2月10日(土)～3月20日(水・祝) 40日間 ※うち2月12日を除く毎週月曜、及び2月13日は休館	3,222人	6,000人

(参考)

<入館者の地域別割合> アンケート回答者

地域	県東部	県中部	県西部	県外	無回答	計
人数	101	22	9	27	0	159
割合[%]	63.5	13.8	5.7	17	0	100

(2) 令和5年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・広報印刷物はオレンジを基調とし、近世絵画の展覧会として品格と意外性を兼ね備え、人目を引き、若年層へも訴求するようなデザインとなるよう試みた。
- ・会場内で作品のすべてを展開することが難しい絵図や幟などの作品については、原寸大複製画を制作、活用し、会場内とエントランスホールに展示することで作品の規模の大きさを体感できるよう心掛けた。
- ・新型の掛軸ケース等を作成し、展示壁面の制約に対応しつつ、作品の鑑賞性を担保し、細部まで鑑賞できるよう工夫した。
- ・前売り券販売において、試験的にオンライン発券システムを導入した。
- ・会場内を原則撮影可とした。(ただし、所蔵者の意向により撮影禁止の作品あり。また、SNS等への投稿は禁止)
- ・オリジナルグッズ4種を企画、監修し、展覧会開催に合わせて販売した。

(3) 成果及び効果

- ・知名度のある画家の展覧会ではなかったが、幕末期の知られざる画家を紹介する展覧会として一定の評価を得た。殊にアンケートでは、幽峨の力量を知ることができ驚いた、近世鳥取画壇の特異性について知ることが出来た等、大きな反響を得ることができた。
- ・調査を通じて得られた幽峨の修業期における新知見より、幽峨の美術史的 position の一端を明らかにすることができた。また、これらを展覧会の構成や図録に反映し、県内外の研究者より注目を得ることができた。
- ・年度末ではありながら、学校来館は計9回に及び(鳥取西高、鳥大附属小、鳥大附属特支)、多くの児童・学生に

展覧会を見てもらう機会を提供できた。

- ・本展来場者には10代～30代にかけての来場者が多くみられたこと、親子連れの姿が目立ったこととの報告を受けた。近世絵画の展覧会としては今までにない傾向であり、従来のファン層に加え若年層を獲得した。

<入館者の満足度等>アンケート回答より

感想(主なもの)

- ・根本幽娥の遺した作品の多さと作風の幅広さにおどろきました。
- ・根本幽娥だけでなく、関連する画家の作品も見られて良かった。撮影できる作品があるのも嬉しかった。
- ・作品の質がとてよかった。見せ方も迫力のあるキュレーションでとても面白く見る事が出来ました。
- ・チラシを見て興味をそそられ、神戸の方から初来館しました。鳥取画壇も初めて知りましたが、その素晴らしさに驚きました。
- ・壁の展示のキャプションの位置をもう少し上げてほしい。字も小さいので読みにくい。ずっとしゃべっている人、結界の内側に入っている人を、係員が注意しないので、とても気が散った。

(4) 課題

- ・例年2月から3月にかけての展覧会は悪天候により来場者数で苦戦を強いられるが、本年は昨年に比して2月に低温・降雨の日が続き、やはりこうした日には入館者数が顕著に少なく、来場者目標には届かなかった。
- ・印刷費高騰に伴い予算が圧迫され、図録は当初予定していたA4判からB5判へ変更することを余儀なくされ、カラー一台図版が小さくなった。
- ・「本展をどの媒体を通して知ったか」という設問に対しては「ポスター・チラシ(合計42.3%)」「看板(18.4%)」に次いで「SNS(13.2%)」との回答が多く、今後も引き続き若い世代の層に訴求力のある媒体として、引き続きSNSを主要な広報手段として、より効果的な広報計画を研究・策定する必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
博物館学習支援事業費	5,772	0	0	0	5,772
将来ビジョン	-				
令和新时代創生戦略	大項目 中項目 小項目 SDGsゴール 04 質の高い教育をみんなに				
政策項目	-				

1 事業の目的、概要

県民の生涯学習や学校教育を支援するために、講座や体験学習会、移動博物館などを実施するとともに、博物館の活動、研究成果、利用方法などについて広く情報を発信する。

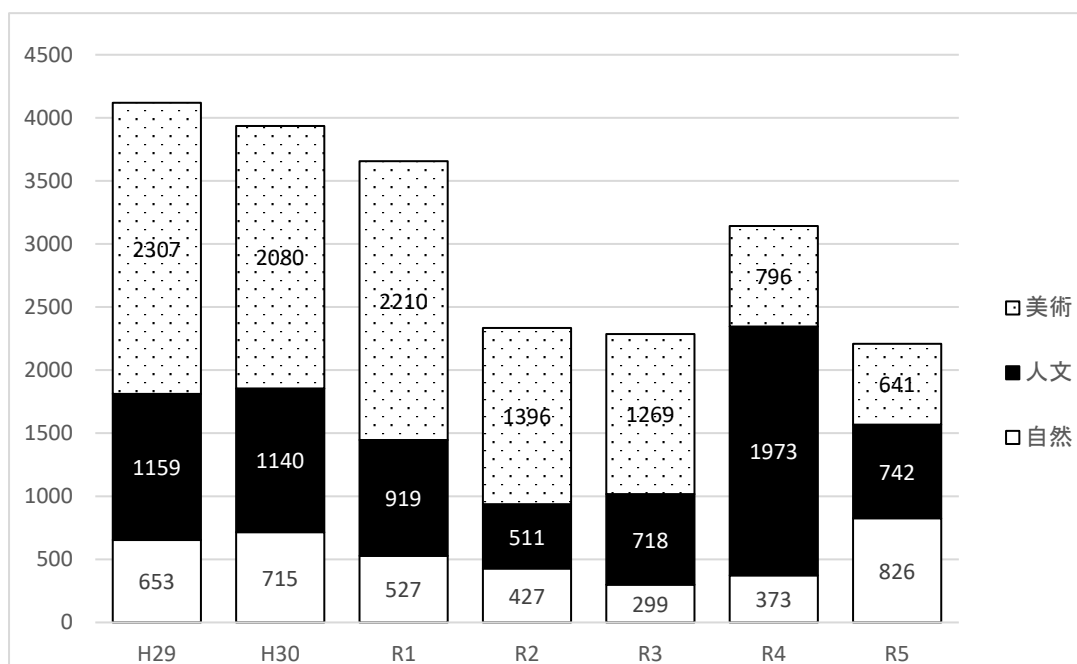
2 事業の内容、実施の状況

(1) 生涯学習支援

- ・館内外で、各種講演会・ワークショップ・観察会等の普及講座を開催した。なお、美術分野「コレクション宅配便」を美術館整備課と連携して実施している。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ中止とした講座があり、例年に比べて開催回数が減少した。

普及講座の実績

(単位：回数=回 (中止回は除く)、参加者=人)



年度	自然		人文		美術		計	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
H29	21	653	37	1,159	63	2,307	121	4,119
H30	20	715	36	1,140	61	2,080	117	3,935
R1	17	527	33	919	54	2,210	104	3,656
R2	11	427	25	511	41	1,396	77	2,334
R3	12	299	28	718	44	1,269	84	2,286
R4	11	373	24	1,973	25	796	60	3,142
R5	24	826	29	742	24	641	77	2,209

- ・館蔵資料や作品を県内各地で見学・鑑賞に供するため、移動博物館・移動美術館を開催した。

移動博物館・移動美術館／出前展示の実績 (単位：回数＝回、入場者＝人)

年度	自然		人文		美術		計	
	回数	入場者	回数	入場者	回数	入場者	回数	入場者
H26	4	3,526	7	2,312	1	246	12	6,084
H27	6	2,611	4	1,003	2	851	12	4,465
H28	5	643	5	3,778	2	569	12	4,990
H29 ^{※1}	2	943	自然・人文共同開催 (左記に含む)		2	2,231	4	3,174
H30	4	674	3	275	2	645	9	1,594
R1 ^{※2}	4	455	5	1,653	2	1,927	11	4,035
R2 ^{※2}	4	475 ^{※3}	1	350	1	406	6	1,231
R3	3	278	1	855	中止	—	4	1,133
R4 ^{※4}	5	—	0	0	1	406	6	406
R5 ^{※4}	6	772	2	—	1	313	9	1,085

※1 移動博物館を希望する学校や公民館等の応募開催から、平成29年度より当館が選定する会場での開催に変更。展示を希望する学校への対応は「出前展示」と名称を変更して継続。

※2 自然・人文共同開催の1回は自然の欄に含む。

※3 自然・人文共同開催の1回はショッピングモール開催のため集計できず。

※4 出前展示の入場者数はカウントしていない。

(2) 学校教育支援

- ・博物館の持つ専門知識や博物館資料等の学習資源を学校教育活動やその対象となる学校教職員に提供する「教員のための博物館の日」は75名の参加があった。
- ・アウトリーチ事業として各学校等に出前展示、学芸員派遣などの照会を行い、博物館資料を活用した講座を実施した。青谷高校の「青谷学」など博学連携の取組に成長している事案ができた。
- ・学校団体の見学対応では、展示室の案内・解説だけでなく、デジタルアーカイブを活用した解説（市のうづりかわり）も実施した。

(3) 情報発信

- ・生涯学習支援、学校教育支援に関する情報をとりネット(博物館ホームページ)で情報発信した。
- ・平成28年度からFacebookでの情報発信にも努めており、フォロワーは1,998人(令和6年2月末)。更新頻度も増えており、「いいね！」を押すことによる口コミ効果が広がっている。令和2年5月からInstagram、令和3年12月からはTwitter(現・X)も開設し、SNSで広く情報発信している。
- ・研究報告、普及誌(博物館ニュース)等を発行した。
- ・県立図書館・公文書館・埋蔵文化財センターとの4館合同デジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」を随時更新し、令和6年2月末の時点で約94万件のアクセス数があった。

3 事業成果(改善状況)、課題等

(1) 事業成果(改善状況)

- ・県民協力団体と連携した講座を開催した。
- ・学校からの展示希望について、「出前展示」として実施した。
- ・鳥取市小学校教科科学習研究会(せいかつ部会)において、教員に当館のワークショップ等を体験していただいた。また、宝木小学校では「風をつくろう」のワークショップを開催した。

(2) 課題等

- ・「教員のための博物館の日」は、参加した教職員に好評いただいているが、リピーターが多い。より多くの教職員に参加してもらえるような（広報等の）工夫が必要。例えば、小教研などの教員の研修会等に出かけてPRするなどのことも検討する。
- ・美術館開館後は自然・人文が主になるため、新しい普及講座の在り方を検討する。また、障がいの有無にかかわらずどんな方でも参加可能なユニバーサルな講座の形も模索する。
- ・「とっとりデジタルコレクション」を学習教材として活用するために、教材化および教職員への周知を図っていく必要がある。図書館など「とりデジ」参加機関と連携して教材開発するなどの工夫を検討していく。
- ・オンラインでの展示解説もできる、ということをもっと積極的に学校等にPRしていく。（遠方に所在する学校でも対応可能であることをもっと周知する）。

<令和5年度研究成果>

【自然担当】

- ・鳥取県立博物館研究報告61号に、次の研究を出版・発表した。
 - 昆虫の生態を基盤にした博物館の総合的有害生物管理（IPM）の実際
2006年から取り組んでいる総合的有害生物管理（IPM）において、昆虫（害虫）の生態に基づいた対策の中で成果のあった事例を報告した。
- ・鳥取県立博物館研究報告61号に、次の研究を出版・発表した。
 - 史跡米子城跡と鳥取市禰谷のキシノウエトタテグモ（トタテグモ科）
鳥取県中西部で初記録となるキシノウエトタテグモについて、米子城跡における営巣状況とともに報告した。あわせて、米子市初記録となるキノボリトタテグモ、新産地となる鳥取市禰谷におけるキシノウエトタテグモの営巣についても報告した。
 - 鳥取県で初記録の外来陸産貝類オオクビキレガイ
鳥取県で初めて確認されたオオクビキレガイについて発見・確認の経緯を記すとともに、移入過程について若干の考察を加えた。
- ・山陰自然史研究19号に、次の研究を出版・発表した。
 - 隠岐諸島島後に漂着したオットセイの記録
2023年5月に隠岐諸島島後に漂着したオットセイについて報告するとともに、鳥取・島根両県におけるオットセイ漂着の過去の記録をまとめた。
- ・Edaphologia114号に、次の研究を出版・発表した。
 - トビムシ目の日本固有種リスト作成の試み
生物多様性保全の観点から日本産トビムシの暫定的な固有種リストを作成するとともに、分類群や生息環境と固有種率との関連について若干の考察を加えた。

【人文担当】

- ・国際医学雑誌に、次の研究論文（共同執筆）を掲載した。
 - Hyoro-zeme in the battle for Tottori castle (1581): the first description of refeeding syndrome in Japan [天正9年(1581年)鳥取城の戦いにおける「兵糧攻め」: 日本におけるリフィーディング症候群の最初の記述] The American Journal of the Medical Science (2023年8月発行)

【美術担当】

- 美術館の開館を視野に入れた新しい収集方針に基づく美術作品の情報収集と調査を行い、伊藤若冲や鈴木其一、森村泰昌などこれまで本県で収集していなかった作家の作品を収集した。
- 従来の美術教育にはとどまらない新しい学びが展開される場としてのミュージアムの在り方を調査研究し、その成果として、「ミュージアムとの創造的対話04 ラーニング／シェアリング」を開催した。
- 鳥取県内の各ミュージアムが所蔵する素描作品を調査し、鳥取県とゆかりのある作家が残した素描作品を中心に構成した、鳥取県アートミュージアム連携協議会主催の共同企画展「ドローイング・アディクト ハマる素描」を米子市美術館で開催した。
- 当館が以前より行ってきた藩政時代の画家・根本幽峨の調査研究と作品収集成果を踏まえて、企画展「根本幽峨」を開催し、その成果を反映させた図録も刊行した。

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予算額			現額		調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越財源充当額	計	継続費及び繰越事業費					
	教育使用料	888,000	295,000	0	1,183,000	1,722,679	1,722,679	0	0		
	行政財産使用料	359,000	0	0	359,000	0	0	0	0		
歳入	利子及び配当金	1,000	0	0	1,000	0	0	0	0		
	物品売払収入	950,000	0	0	950,000	947,060	947,060	0	0		
	雑入	9,177,000	3,868,000	0	13,045,000	13,925,356	13,925,356	0	0		
	合計	11,375,000	4,163,000	0	15,538,000	16,595,095	16,595,095	0	0		

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予算額			現額		支出済額 (決算額) B	支出済額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計 A		本庁	出納機関			
	博物館費	212,033,000	28,985,000	0	241,018,000	235,677,831	3,058,774	232,619,057	0	5,340,169		
歳出	教職員の人事費	0	0	0	4,621,000	3,362,668	0	3,362,668	0	1,258,332		
	教育連絡調整費	0	0	0	2,379,000	2,122,114	0	2,122,114	0	256,886		
	合計	212,033,000	28,985,000	0	248,018,000	241,162,613	3,058,774	238,103,839	0	6,855,387		

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算額				現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及 び繰越事 業費繰 越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A							
(博物館費) (主)												
企画展開催費	81,082,000	△123,000	0	△1,804,000	79,155,000		77,925,099	0	1,229,901	98.4%	「主な事業に関する調べ」のとおり	
博物館運営費	85,683,000	△1,360,000	0	678,000	85,001,000		83,692,736	0	1,308,264	98.5%	快適な鑑賞環境を提供するため、施設の維持管理を行い、来館者サービスの向上につながるよう来館者等からの意見を聞きながら博物館を運営した。	
自然事業費	5,280,000	△1,528,000	0	1,646,000	5,398,000		5,260,172	0	137,828	97.4%	自然部門(地学・動物・植物)の資料の収集・修復、調査研究及び常設展示を行った。	
人文事業費	20,632,000	0	0	△204,000	20,428,000		19,426,855	0	1,001,145	95.1%	人文部門(考古・歴史・民俗)の資料の収集・修復、調査研究及び常設展示を行った。	
美術事業費	11,311,000	0	0	△175,000	11,136,000		10,381,369	0	754,631	93.2%	美術部門(絵画・彫刻・工芸・写真等)の資料の収集・修復、調査研究及び常設展示を行った。	
博物館学習支援 事業費	8,045,000	△1,334,000	0	△141,000	6,570,000		5,771,600	0	798,400	87.8%	「主な事業に関する調べ」のとおり	
県立博物館改修 整備検討事業	0	33,330,000	0	0	33,330,000		33,220,000	0	110,000	99.7%	博物館の改修整備基本方針の検討を行った。	
日計	212,033,000	28,985,000	0	0	241,018,000		235,677,831	0	5,340,169			

(単位：円)

事業名	予算額			現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減 額	計 A						
(教職員人事 費) 博物館運営費	0	0	0	0	4,621,000	4,621,000	3,362,668	0	1,258,332	72.8%	標準事務費の予算不足に充当
目計	0	0	0	0	4,621,000	4,621,000	3,362,668	0	1,258,332		
(教育連絡調 整費) 博物館運営費	0	0	0	0	2,379,000	2,379,000	2,122,114	0	256,886	89.2%	標準事務費の予算不足に充当
目計	0	0	0	0	2,379,000	2,379,000	2,122,114	0	256,886		
合計	212,033,000	28,985,000	0	0	7,000,000	248,018,000	241,162,613	0	6,855,387		

8 予備費の充用調べ
該当なし

9 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況 (令和6年3月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
教育使用料、博物館使用料	1,089,990	198	博物館入館料
物品売払収入	947,060	72	刊行物(図録)売払収入
雑入	4,510	23	公衆電話使用料、コピー代
合計	2,041,560	293	

(2) つり銭の状況 (令和6年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	250,000
--------	---	----------	---------

10 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(令和6年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	面積(m ²)		価額(円)
行政財産	鳥取県立博物館 博物館湖山倉庫	鳥取市東町二丁目 124番地 鳥取市湖山町南三丁目505の一部	14,227.96	不明	増加	R			14,227.96		不明	
			3,260.40	不明	減少	R			3,260.40		不明	
計			17,488.36	0				17,488.36			0	

イ 建物

(令和6年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	面積(m ²)		価額(円)
行政財産	鳥取県立博物館 博物館湖山倉庫	鳥取市東町二丁目 124番地 鳥取市湖山町南三丁目848	9,699.18	726,927,000	増加	R			9,699.18		726,927,000	
			488.80	15,739,470	減少	R			488.80		15,739,470	
計			10,187.98	742,666,470				10,187.98		742,666,470		

ウ 山林

エ 不動産売却等

オ 財産の交換

該当なし

該当なし

該当なし

力 動 産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
 キ 物 権 該当なし
 ク 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし
 ケ 有価証券 該当なし
 コ 出資による権利 該当なし

(2) 金券類の保有状況
 ア 金券の保有状況 無
 (有) . 無

イ タクシーチケットの保有状況 (令和6年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
91 (JCB: 38枚) (ハイヤ-組合: 53枚)	0 (JCB: 0枚) (ハイヤ-組合: 0枚)	8 (JCB: 8枚、期限切れ 0枚) (ハイヤ-組合: 0枚、未使用処分0枚) 19,290 円	83 (JCB: 30枚) (ハイヤ-組合: 53枚)

(3) 基金 (令和6年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
鳥取県美術品取得基金	42,161,800	0	0	42,161,800	
合 計	42,161,800	0	0	42,161,800	

(4) 債 権 該当なし

1 1 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

行政・普通 財産の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の 貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	来館者のための カフェ事業	鳥取市東町二丁目 124番地	35.16㎡	R5.4.1	H23.6.28	R5.4.1 ～ R6.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市行徳二丁目260 株式会社 グラン・クリュ食工房		
	鳥取県立博物館 振興会事業	鳥取市東町二丁目 124番地	16.36㎡	R5.4.1	H19.3.30	R5.4.1 ～ R10.3.31	月額・年額 0	0	鳥取市東町二丁目124番地 鳥取県立博物館振興会		
計								0			

(2) 物品 (1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住氏	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
菅橋彦 「阪都四ツ橋」他	4	絹本・著色 他	R5.4.15 ～ R5.6.11	0	0	東京都千代田区丸の内1-9-1 東京ステーションギャラリー 館長 福田 章	東京 ステーション ギャラリー	「大阪の日本画」東京展に出品の ため	
佐伯祐三 「オーヴェールの教会」	1	油彩・キャンバス	R5.4.15 ～ R5.6.25	0	0	大阪府大阪市北区中之島4-3-1 大阪中之島美術館 館長 菅谷 富夫	大阪中之島美術館	「佐伯祐三 自画像としての風 景」大阪展に出品のため	
前田寛治 「西洋婦人像」他	2	油彩・キャンバス	R5.9.9 ～ R5.10.15	0	0	倉吉市仲ノ町3445-8 倉吉博物館 館長 根鈴 輝雄	倉吉博物館	「郷土の洋画家・前田寛治展」に 出品のため	
合計				0	0				

1 2 借受不動産明細調べ

該当なし

1 3 職員駐車場の管理状況調べ

該当なし(利用者なし)

1.4 寄附物件の受納状況調べ

(令和6年3月31日現在)

品名	規格・ 銘柄等	数量	見積金額	寄附 申込 年月日	寄附 申込者 氏名	受納 年月日	受納 手続 の有無	備考
キタオットセイ	分離骨格 標本	1	円 10,000	R5.5.18	個人	R5.8.30	有	自然 資料
維管束植物標本	乾燥標本	14	14,000	R5.6.16	個人	R5.6.19	有	自然 資料
タゴビル	液浸標本	1	5,000	R5.7.15	個人	R5.7.27	有	自然 資料
イボトビムシ標本	プレバ ラート標 本	6	1,200	R5.8.17	個人	R5.9.7	有	自然 資料
菌類標本（ツリバリサ ルノコシカケ）	乾燥標本	1	100	R5.9.8	個人	R5.9.14	有	自然 資料
アオバダイ	冷凍標本	1	20,000	R5.9.26	個人	R5.10.18	有	自然 資料
鳥取県産昆虫標本	乾燥標本	12	2,400	R5.10.14	個人	R5.10.17	有	自然 資料
植物標本	乾燥標本	50	2,500	R5.11.29	個人	R5.12.6	有	自然 資料
植物標本（イズセン リョウ）	生体	1	50	R5.12.11	個人	R5.12.19	有	自然 資料
小型サンショウウオ標 本	液浸標本	2	10,000	R5.12.16	個人	R5.12.26	有	自然 資料
アオウミガメ	本剥製	1	10,000	R6.2.7	個人	R6.2.15	有	自然 資料
貝類標本	貝殻標本	約 60,000	450,000	R6.2.26	個人	R6.3.19	有	自然 資料
海産動物等標本	乾燥標 本、貝殻 標本、液 浸標本	約 1,500	120,000	R6.2.28	個人	R6.3.19	有	自然 資料
トビムシ類標本	プレバ ラート標 本	約 8,000	80,000	R6.3.24	個人	R6.3.27	有	自然 資料
護摩祈祷札		61	12,200	R5.7.2	個人	R5.7.5	有	民俗 資料
和歌短冊		3	10,000	R5.8.4	個人	R5.8.10	有	歴史 資料
因幡国高砂屋一家系図		1	200,000	R5.9.6	個人	R5.9.15	有	歴史 資料
菅家文書（付 革製御判 物箱）		39	11,850,000	R5.10.21	個人	R5.11.10	有	歴史 資料
船上山碑拓本		1	1,000	R5.11.10	個人	R5.12.1	有	歴史 資料
袱紗		1	10,000	R5.12.13	個人	R5.12.14	有	民俗 資料
ロシア製銃剣		1	80,000	R5.12.13	個人	R5.12.14	有	歴史 資料
山陰における口承文芸 の記録（童謡・民話 等）2,836件		1	850,800	R6.2.2	個人	R6.2.7	有	民俗 資料
旧鳥取藩士野田懐之家 文書		125	100,000	R6.2.2	個人	R6.2.7	有	歴史 資料

品名	規格・ 銘柄等	数量	見積金額	寄附 申込 年月日	寄附 申込者 氏名	受納 年月日	受納 手続 の有無	備考
井上円了書		1	20,000	R6. 2. 16	個人	R6. 2. 20	有	歴史 資料
鳥取藩武道伝書		15	100,000	R6. 2. 16	個人	R6. 2. 20	有	歴史 資料
鳥取藩士道丸家資料		12	58,000	R6. 3. 1	個人	R6. 3. 12	有	歴史 資料
辻晋堂試作小品	陶彫、粘 土	14	330,000	R5. 4. 10	個人	R5. 5. 26	有	美術 資料
池本恵鳥資料	ブロン ズ、粘土 他	4	110,000	R5. 6. 9	個人	R5. 6. 23	有	美術 資料
川俣正作品及び資料	ベニヤ 板、写真 他	21	18,145,000	R5. 5. 1	個人	R5. 5. 31	有	美術 資料
晴雲斎（根本雪峨か） 関係資料	紙本墨画 淡彩	1	100,000	R5. 7. 31	個人	R5. 8. 31	有	美術 資料
土方稻嶺《桐に群鶏図 屏風》他	紙本墨画 淡彩	5	8,900,000	R5. 7. 31	個人	R5. 8. 31	有	美術 資料
沖一峨《秋草図》	絹本着色	1	600,000	R6. 2. 26	個人	R6. 3. 1	有	美術 資料
依田順子《Untitled #P-7》他	アクリ ル・ライ スパー、 インク・ 方眼紙	3	2,100,000	R6. 2. 26	個人	R6. 3. 1	有	美術 資料
辻晋堂《カマボコ人 間》他	陶彫	2	4,000,000	R6. 2. 26	個人	R6. 3. 1	有	美術 資料
中島菜刀《岩木谷所 見》他	紙本墨画 淡彩、木 版画、型 絵染版画 他	23	990,000	R6. 2. 26	個人	R6. 3. 1	有	美術 資料
合計		約 69,925	49,292,250					

15 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定 年月日	処 分					備考
			売払棄 却の別	売払方法・ 棄却理由	処分 年月日	売払 額	処分 費用	
パワードミキサー	H4. 4. 6	R5. 6. 29	棄却	故障により使用 不可	R5. 7. 6	円 0	円 0	
外付けハードディス ク	R5. 2. 8	R5. 10. 26	棄却	誤登録による棄 却	R5. 10. 26	円 0	円 0	
蔵書印/縦蔵書之印 3.3	S47. 7. 10	R5. 10. 26	棄却	経年劣化のため 使用不可	R5. 11. 4	円 0	円 0	
蔵書印/丸型	S47. 7. 10	R5. 10. 26	棄却	経年劣化のため 使用不可	R5. 11. 4	円 0	円 0	
液晶プロジェクター	H14. 4. 18	R5. 11. 17	棄却	耐用年数経過に よる劣化のため 使用不可	R5. 12. 7	円 0	円 0	
標本/サツパ	H30. 3. 16	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定 年月日	処 分					備考
			売払棄 却の別	売払方法・ 棄却理由	処分 年月日	売払 額	処分 費用	
標本/シシャモ (オス)	H30. 3. 16	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
標本/シシャモ (メス)	H30. 3. 16	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
標本/ヒイラギ	H30. 3. 16	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
標本/イソギンポ	H30. 3. 16	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
標本/ハマベノギク	H30. 3. 10	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
標本/コウノ トリ (骨格・仮剥製)	H30. 3. 15	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
標本/ハクビシン (骨格・剥製・消化 管)	H30. 3. 15	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
レプリカ/セダカイ ケカツオ (NSM PV- 19631)	H30. 3. 20	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
レプリカ/ミヤノシ タサ ッパ (NSM PV- 18181)	H30. 3. 20	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
レプリカ/オニハマ ダイコン	H31. 2. 15	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
レプリカ/クビナガ ホコリ	R1. 12. 27	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
レプリカ/タチフン ホコリ	R1. 12. 27	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
レプリカ/ウルワシ モジホコリ	R1. 12. 27	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
レプリカ/ルリホコ リ	R1. 12. 27	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
模型/クモノスホコ リ	R2. 7. 1	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
模型/ケホコリ	R2. 7. 1	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
模型/ヘビヌカホコ リ	R2. 7. 1	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
模型/ヒメカタホコ リ	R2. 7. 1	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
骨格標本/バン、カ ワセ ミ、フクロ ウ、カワラバト、ツ ミ、 トビ、オオル リ	R5. 2. 22	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
剥製、骨格標本/コ ウノトリ	R5. 2. 22	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
植物資料 /オオミヤ マトンビマイの樹脂 含浸標本	R5. 2. 15	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
標本/三葉虫	R5. 10. 29	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
標本/板皮類の一種	R5. 10. 29	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定 年月日	処 分					備考
			売払棄 却の別	売払方法・ 棄却理由	処分 年月日	売払 額	処分 費用	
村川家文書15点	H30. 4. 20	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
南条元統筆 消息 浅 井源之左衛門宛	H30. 8. 8	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
西伯之資力 附職員 録	R1. 6. 25	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
会見郡鶴田村田畑地 続全図	R1. 6. 25	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
伯耆国日野郡・会見 郡文書	R1. 6. 25	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
池田吉泰和歌	R2. 3. 27	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
若殿様書跡	R2. 3. 27	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
若殿様書跡	R2. 3. 27	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
池田幸降書状(土倉 市正宛)	R2. 3. 27	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
池田光政書状(石入 宛)	R2. 3. 27	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
鉄鐸7点、短冊 1冊 、掛軸1幅、古写真1 葉、古書1冊	R5. 3. 23	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
唐草蝶紋蒔絵女乗物	R5. 5. 25	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
白糸絨金唐草包二枚 胴具足	R5. 5. 25	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
唐草蝶紋蒔絵挾箱	R5. 5. 25	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
唐草蝶紋蒔絵挾箱	R5. 5. 25	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
唐草蝶紋蒔絵茶弁当	R5. 5. 25	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
唐草蝶紋蒔絵薙刀棒	R5. 5. 25	R6. 1. 24	棄却	二重登録による 棄却	R6. 1. 24	円 0	円 0	
合 計								

16 貸付金等状況調べ
該当なし

17 博物館運営

(1) 管理運営

ア 博物館協議会

鳥取県立博物館協議会(昭和33年条例第16号設置)は、委員13人で構成し、運営、自然、美術、人文の専門部会を組織して運営している。

会議の開催状況

全体会 令和5年8月1日、12月26日、令和6年3月(書面評決)

イ 入館料、使用料

入館料

(平成29年4月1日改訂)

区 分		金額			特別展示
		通常展示			
		同日中に特別展示に入館しない場合	同日中に博物館主催の特別展示に入館する場合	同日中に博物館主催以外の特別展示に入館する場合	
個人 1人1回につき	大学生以下	無 料	無 料	無 料	展示に要する経費を勘案して、教育委員会が別に定める額
	学校教育活動での引率者	無 料	無 料	無 料	
	70歳以上	無 料	無 料	無 料	
	障がいのある方 ・難病患者の方 ・要介護者等及びその介護者	無 料	無 料	無 料	
	一 般 人	180円	無 料	90円	
団 体 (20名以上) 1人1回につき	大学生以下	無 料	無 料	無 料	
	学校教育活動での引率者	無 料	無 料	無 料	
	70歳以上	無 料	無 料	無 料	
	障がいのある方 ・難病患者の方 ・要介護者等及びその介護者	無 料	無 料	無 料	
	一 般 人	150円	無 料	70円	

展示室等使用料

(平成27年4月1日改訂)

区 分	金 額	
第1展示室	1日につき 13,300円	半日につき 6,650円
第2展示室	〃 13,300円	〃 6,650円
第3展示室	〃 10,380円	〃 5,190円
講 堂	〃 5,320円	〃 2,660円
会 議 室	1時間につき 270円	

備 考

- この表中「1日」とは午前9時から午後5時までをいい、「半日」とは午前9時から午後1時まで又は午後1時から午後5時までをいう。
- 午後5時を越えて展示室又は講堂を利用するときは、この表に定める使用料の額に1時間につき次の表の左欄に掲げる区分に応じてそれぞれ同表の右欄に掲げる額の使用料を加算する。この場合において、利用時間が1時間未満であるとき又は利用時間に1時間未満の端数があるときは1時間として計算するものとする。

区 分	金 額
第 1 展 示 室	1時間につき 1, 6 6 0円
第 2 展 示 室	" 1, 6 6 0円
第 3 展 示 室	" 1, 3 0 0円
講 堂	" 6 6 0円

3 暖房又は冷房をしたときは、この表に定める使用料の額に当該額の2割に相当する額を加算する。

展示室等利用料金の減免事由

該当項目	減免対象	減免率
芸術文化団体が芸術又は文化の振興のために行う公演、展示、講演、講習等のための催し(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2
社会教育団体が社会教育活動として行う講習会、講演会、展示会その他の集会等(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2
障がいのある方、難病患者の方及びその介護者が社会参加の目的のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
70歳以上の高齢者が社会参加の目的のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
要介護者等及びその介護者が社会参加の目的のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
全県の児童、生徒を対象に募集した作品の展示会(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	10/10
郡市単位以上の児童、生徒を対象に募集した作品の展示会(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	1/2
教育研究団体が教育内容の向上を目的として行う教職員を対象とした講演会又は講習会等(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	10/10
個人又は団体等が一般人を対象に開催する展示会、講演会又は講習会等(博物館の業務に関連のある展示会、講演会又は講習会で、入場料等を徴収しない場合)	展示室 講 堂	1/2
博物館の業務に関連のある展示会で、入場料(これに類するものを含む。)が県立博物館の入館料最高額をこえないもので、博物館長が特に減免の必要があると認め、教育長がこれを承認した場合	展示室	展示期間の 前後各1日 10/10
その他博物館長が特に減免の必要があると認め、教育長がこれを承認した場合の展示会、講演会又は講習会等	展示室 講 堂 会議室	1/2 又は 10/10
学校等が、生徒等が行う公演、生徒等の作品の展示等の文化芸術に関する行事(学年(これに相当するものとして知事が別に定めるものを含む。)単位以上の規模で行うこと、実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないことその他知事が別に定める要件に該当するものに限る。)のために利用するとき	展示室 講 堂 会議室 冷暖房料	10/10
幼児・児童又は生徒が参加するもので、対象団体等が主催する文化芸術行事又はスポーツ行事(学年単位以上、学校の文化部長が行う発表会等、対象団体が行う大会等) 【対象団体】(県内のものに限る) 幼稚園、保育所、小・中・高等学校、盲・聾・養護学校、高等専門学校、専修学校、指定技能教育施設、教育関係団体	展示室 講 堂 会議室 冷暖房料	10/10

展示室等利用料金の無料事由

該当項目	無料対象
とっとり県民の日(9月12日)には、展示室等使用料(とっとり県民の日の趣旨にふさわしい行事を行う場合に限る。)についてはこれを徴収しない。9月の第2土曜日及びその翌日における当該使用料についても、同様とする。	展示室 講堂 会議室 冷暖房料

ウ 開館時間、休館日

開館時間 午前9時から午後5時まで

(教育委員会があらかじめ指定する日にあつては、午前9時から午後7時まで)

- 休館日
- ・月曜日(その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日(以下「休日」という。)である場合は、その翌日(その日が休日でない場合に限る。))
 - ・休日の翌日(その日が日曜日、土曜日又は休日でない場合に限る。)
 - ・12月29日から翌年の1月3日までの日

(2) 利用状況

ア 展示室等利用状況(日数)

(単位:日)

区分	常設 展示室	第1 展示室	第2 展示室	第3 展示室	講堂	会議室	合 計
主 催	324	265	265	168	115	54	1,191
その他	0	76	76	36	32	11	231
計	324	341	341	204	147	65	1,422

イ 博物館利用者数

(単位:人)

区分	常設展	企画展等	講堂	会議室	研究相談	普及活動 (講堂、会議 室を除く)	カフェ 利用者	合 計
主 催	28,961	33,535	993	1,658	128	3,973	0	69,248
その他	0	11,065	2,342	232	0	0	12,537	26,176
計	28,961	44,600	3,335	1,890	128	3,973	12,537	95,424

ウ 常設展月別入館者数

(単位：人)

月別	開館日数	幼児			小中学生			高校生			学生			一般			合計			1日当たりの入館者数						
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計							
4月	26	74	0	74	167	210	377	129	0	129	66	20	86	(292)	(23)	(315)	(853)	282	1,135	(292)	(23)	(315)	(1,289)	512	1,801	69
5月	28	95	8	103	188	28	216	71	91	162	66	0	66	(341)	(3)	(344)	(1,130)	338	1,468	(341)	(3)	(344)	(1,550)	465	2,015	71
6月	26	60	2	62	97	91	188	36	0	36	48	7	55	(245)	(0)	(245)	(596)	162	758	(245)	(0)	(245)	(837)	262	1,099	42
7月	27	502	14	516	886	70	956	68	0	68	63	0	63	(1,403)	(25)	(1,428)	(1,616)	128	1,744	(1,403)	(25)	(1,428)	(3,135)	212	3,347	123
8月	28	980	0	980	2,564	5	2,569	164	0	164	181	0	181	(2,054)	(0)	(2,054)	(2,439)	143	2,582	(2,054)	(0)	(2,054)	(6,328)	148	6,476	231
9月	28	93	0	93	80	152	232	22	0	22	71	0	71	(185)	(35)	(220)	(1,129)	239	1,368	(185)	(35)	(220)	(1,395)	391	1,786	63
10月	29	520	45	565	292	146	438	28	0	28	55	0	55	(1,365)	(0)	(1,365)	(1,784)	483	2,267	(1,365)	(0)	(1,365)	(2,679)	674	3,353	115
11月	28	562	82	644	284	276	560	14	0	14	73	0	73	(1,352)	(39)	(1,391)	(1,737)	618	2,355	(1,352)	(39)	(1,391)	(2,670)	976	3,646	130
12月	27	97	15	112	310	147	457	35	0	35	89	0	89	(425)	(0)	(425)	(721)	127	848	(425)	(0)	(425)	(1,252)	289	1,541	57
1月	26	110	0	110	124	18	142	17	0	17	32	9	41	(117)	(0)	(117)	(444)	183	627	(117)	(0)	(117)	(727)	210	937	36
2月	25	115	12	127	125	1	126	32	0	32	64	0	64	(384)	(2)	(386)	(722)	161	883	(384)	(2)	(386)	(1,058)	174	1,232	49
3月	26	106	56	162	159	0	159	41	75	116	140	0	140	(505)	(76)	(581)	(836)	315	1,151	(505)	(76)	(581)	(1,282)	446	1,728	66
合計	324	3,314	234	3,548	5,276	1,144	6,420	657	166	823	948	36	984	(8,668)	(203)	(8,871)	(14,007)	3,179	17,186	(8,668)	(203)	(8,871)	(24,202)	4,759	28,961	89
補足説明		() は入館料減免者で内数である。																								

(3) 事業内容

ア 常設展示

(単位：点)

区 分	実物資料・標本	ジオラマ・模型・機器	計
自 然	2,210	15	2,225
歴史・民俗	820	88	908
美 術	84	0	84
合 計	3,114	103	3,217

(ア) 自然展示室 (1階 515㎡)

鳥取県の自然史、すなわち地質、地形、化石、動物、植物についての歴史と現在の姿を理解できるように、また環境問題や自然との共生を考えるために、実物標本・レプリカ・パネル等を用いてわかりやすく展示解説した。

(イ) 歴史・民俗展示室 (1階 515㎡)

本県の縄文時代から近代までの生活様式の移り変わりと、因幡・伯耆の歴史や文化の特色が理解できるように、資料や模型・模写等を用いながら展示解説するとともに、祖先から伝承された生活用具、日用品、芸術娯楽及び年中行事や県内各地の有形・無形の民俗資料を展示解説した。

(ウ) 近代美術展示室 (2階 374㎡)

事 業 名	会 期	内 容
テーマ展示 センス・オブ・サイズ ～「大きさ」という観点からアートを読み解くと	令和5年4月15日 (土)～ 5月14日(日)	当館コレクションを中心とするさまざまな美術作品や関係資料を、「大きさ」「サイズ」という観点で読み解きながら、大小の比較も含めて紹介展示し、それらが持っている魅力や価値、個性に光を当てた。
シリーズ：美術をめぐる場をつくるⅤ 赤ちゃんたちのためのアート鑑賞パラダイス	令和5年10月15日 (日)～ 11月12日(日)	多様なアートと出会う場を提供する「シリーズ：美術をめぐる場をつくる」の5年目の企画。赤ちゃんたちに楽しんでもらえそうな平面作品、立体作品を会場に展示した。また、「みんなで作る美術館のためのオープン・ミーティング《子どもと美術館》」に参加した方々のアイデアや意見を会場づくりに生かし、各種の参加型ブースを会場内に設けた。

イ 特別展示

(令和6年3月31日現在)

展覧会名	期間	内容	入館者数 (人)	備考
第62回麒麟のまち鳥取市美術展	R5. 5. 28 ～ R5. 6. 4	鳥取市民に芸術作品を創作する意欲を促すとともに、優れた作品を展示することにより市民に鑑賞の機会を提供し、鳥取市及び鳥取県東部地区の美術振興に寄与するための展覧会を開催した。	2,066	鳥取市
第50回記念山陰書人社展・言水抱泉書展	R5. 6. 8 ～ R5. 6. 11	山陰書人社の会員ら47人の作品63点を展示。現代書の先駆者や県内の高校生作品、大作の特別展示等を行った。同時に言水抱泉氏の初の個展が行われた。	1,623	鳥取県独立書人団
ノーベル賞受賞100年記念 アインシュタイン展	R5. 7. 1 ～ R5. 8. 27	20世紀最高の物理学者である、アルバート・アインシュタインが解明した4つの科学理論について、体験装置やゲーム、科学玩具、最新映像技術を駆使し、子どもから大人まで楽しみながら学べる展示とした。また、アインシュタインの手紙や資料、幼少時の挫折体験や晩年の平和活動、ユニークな名言などアインシュタインの深みのある人間性も紹介した。	23,731	
第67回鳥取県美術展覧会	R5. 9. 16 ～ R5. 9. 24	広く県民の方から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、県内の美術、文化の振興に寄与する展覧会を開催した。	3,485	鳥取県 (文化政策課)
「愛しいキルト」 Vol. 2	R5. 9. 28 ～ R5. 10. 1	パッチワーク教室の作品展として開催され、受講者の作品の展示や販売、ワークショップが行われた。	508	前田富美子
勾玉の世界	R5. 10. 7 ～ R5. 11. 12	当館所蔵の国の重要文化財(重文)の子持勾玉をはじめ、鳥取県内外のユニークな勾玉を集め、北は青森県から南は奄美大島の資料を一堂に会して勾玉の形や素材、大きさ、使用法等多様なあり方を示す勾玉について紹介した。展示品は小さく、展示室が広いため、ガラスの上部をフィルムで覆い、来館者の視線を下げる工夫や、ガラスの壁面に沿ってLEDテープを這わせて明るさを補う工夫などを行った。良質なヒスイ本来の色と輝きの鑑賞と、表面観察との両立を図るため、展示品の下からLEDライトの光をゆっくりと点滅させながら当て、透過光と反射光の2通りで見てもらう試みを行った。重文の子持勾玉を形や重さを身近に感じてもらえるよう同形同大で同じ重さのレプリカを作成して、装飾品としての勾玉の大きさ、重さを超えたものであることを体感できるコーナーを設置した。	3,840	

展覧会名	期間	内容	入館者数 (人)	備考
ミュージアムとの創造的対話04 ラーニング／シェアリング	R5. 11. 26 ～ R5. 12. 28	ミュージアムを巡る問いを契機に、国内外の優れたアーティストによる実験的で多彩な表現を展示室の内外に展開させることで、思考を促し、人やモノ、場との対話を重ねながら、その現代的な意味を探るシリーズ企画展の第4回目。今回は、「ラーニング／学ぶこと」と「シェアリング／共有すること」をテーマに、同時代を生きるアーティストの作品を通じて、従来の美術教育にはとどまらない「第3の学びの場」としてのミュージアムの可能性についての考察を促すことを試みた。	2,742	
第21回鳥取県ジュニア美術展覧会	R6. 1. 13 ～ R6. 1. 21	鳥取県の児童・生徒等の創作作品を発表する場を提供し、出展機会を拡大することで芸術文化活動への意欲を高め、県内の青少年の美術活動の振興を図るための展覧会を開催した。	1,995	鳥取県 (文化政策課)
あいサポート・アートとっとり展東部巡回展	R6. 1. 25 ～ R6. 1. 30	平成26年度に開催した「第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会(あいサポート・アートとっとりフェスタ)」の成果を未来に引き継ぐため、障がい者が取り組む作品制作活動の発表と鑑賞の機会を提供することを目的に、令和5年12月9日に開幕した令和5年度鳥取県障がい者芸術・文化作品展「あいサポート・アートとっとり展」の東部巡回展を開催した。	690	鳥取県 (障がい福祉課)
生誕二〇〇年 根本幽峨 近世鳥取画壇の「黄金時代」最後の華	R6. 2. 10 ～ R6. 3. 20	18世紀末から幕末にかけての鳥取藩における「因幡画壇の黄金時代」の最後期を飾る画家・根本幽峨の、生誕200年を記念する初の大規模回顧展として開催した。 本展覧会では初公開の作品を交えつつ、画業初期から晩年に至るまでの代表作、資料を一堂に会して幽峨の生涯を通じた画業を紹介するとともに、江戸後期から近代にかけての鳥取画壇の展開を踏まえて、過渡期的な時代を生きた幽峨が後世の鳥取画壇に与えた影響についても取り上げた。	3,222	
書道連盟展	R6. 3. 27 ～ R6. 3. 31	鳥取書道連盟会長による作品講評や高校生大作展示が行われた。	698	鳥取書道連盟
合 計			44,600	

ウ 普及活動

(ア) 移動博物館

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
自然	最新版！レッドデータブックととりのいきもの～鳥取県の絶滅のおそれのある野生生物～	北栄みらい伝承館	8月5日(土)～ 8月27日(日)		440
合 計 1 回					440

(イ) 出前展示

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
自然	レッドデータブックととりの生きもの	米子市立和田小学校	9月6日(火)～ 9月14日(水)		126
	鳥取の昆虫	米子市立和田小学校	9月13日(火)～ 9月16日(金)		71
	レッドデータブックととりの生きもの	鳥取砂丘コナン空港1階コナンホール	11月25日(土)		—
	レッドデータブックととりの生きもの	倉吉養護学校	11月30日(木)～ 12月4日(月)		—
	レッドデータブックととりの生きもの	倉吉農業高等学校	2月8日(木)～ 2月21日(水)		135
人文	郷土のうつりかわり	鳥取市立稲葉山小学校	1月9日(火)～ 1月29日(月)		—
	ととりの祭り・行事	八頭町立船岡小学校	1月11日(木)～ 1月25日(木)		—
合 計 7 回					332

※人数カウントをしていないものもある

(ウ) 移動美術館

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
移動美術館	“みる”からはじまる「対話型鑑賞」のススメ	日南町美術館	9月1日(土)～ 9月24日(日)		313
合 計 1 回					313

(エ) ①学芸員派遣(教職員向け講師・指導助言)

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
自然	令和5年度鳥取市さじアストロパーク管理運営委員会	鳥取市さじアストロパーク	7月11日(火)		15
	天然記念物唐川カキツバタ群落整備検討委員会	岩美町唐川湿原・岩美町役場	10月5日(木)		16
	米子城跡の植生管理に関する現地指導	米子城跡公園	11月24日(金)		5
	令和5年度山陰海岸国立公園インナーブランディングをふまえたストーリー検討業務における「山陰海岸国立公園の自然環境との関わりと利活用に関するヒアリング」	県博(オンライン)	12月22日(金)		4
人文	令和5年度鳥取県民話サークル連合会資質アップ研修会(講義「口承と記録とのあいだ、野間宗蔵(義学)の(因幡診集之中)「民家通詞」を読む」、語りの交流会指導助言)	鳥取県立倉吉体育文化会館 教養室2	11月22日(水)		14
学習支援	東部小教研(生活部会)研修会	博物館講堂、博物館展示室	10月25日(水)		40
合 計 6 回					94

(エ) ②学芸員派遣

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
自然	科学学習「袋川周辺の植物調査・雑草の魅力」	青翔開智中学校・高等学校	4月24日(月)		53
	美保地区公民館昆虫観察講座	美保地区公民館	5月2日(火)	30	27
	ハマナス保全学習会「海浜植物とハマナス保護」	琴浦町あくりホー下琴浦情報センター会議室・別所地区ハマナス自生地	5月21日(日)		21

	テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然	稲葉山小昆虫観察講座	稲葉山小学校	5月22日(月)		38
	青谷学	青谷高等学校ほか	5月24日(水)	15	15
	プレイパークいわみ「南滝の自然観察&山野草調理」	岩美町小田 南滝	5月27日(土)		15
	オカヒジキもどってこいこいプロジェクト	岩美町牧谷熊井浜	5月28日(日)		31
	野外観察会「山陰海岸ジオハイキング浦富海岸植物観察コース」	山陰海岸国立公園遊歩道(鴨ヶ磯～城原海岸)	6月4日(日)		16
	レッドデータブックとつとりの生き物	米子市立和田小学校	6月8日(木)		32
	動物標本をさわろう	博物館会議室	6月10日(土)		14
	R5年度第1回いわみ学・歴史の道ウォーク「山陰道蒲生峠越」の自然観察	旧蒲生峠越	6月13日(火)	20	18
	動物の体のしくみ	青翔開智中学校・高等学校	6月19日(月)		50
	青谷学	青谷高等学校ほか	6月21日(水)		15
	見て触って城山ツアー	湊山公園米子城跡	6月25日(日)		32
	湖南地域の植物が生育する環境や条件について考える観察会	鳥取市金沢防己尾城跡公園駐車場	7月6日(木)		18
	～もっと知ろうよ明治の自然～「フィールドワークⅢat松上その2」	鳥取市松上神社	7月7日(金)		13
	中国5県自然観察指導員交流会に向けての擬宝珠山自然観察会	江府町鏡ヶ成	7月9日(日)		14
	化石レプリカをつくろう！	鳥取市立中央図書館	7月26日(水)	20	25
	化石レプリカをつくろう！	鳥取市立用瀬図書館	7月28日(金)	20	20
	きしわだ自然資料館友の会 合宿	氷ノ山	7月29日(土)		20
	夏休み向け小学生講座「身近な植物について観察のポイントを知る」	鳥取市立湖山西地区公民館	7月31日(月)		8
	鳥のヒミツ	鳥取県立図書館	8月10日(木)		24
	三朝神社社叢の樹種構成の確認、管理等についての協議	三朝町三朝神社	8月10日(木)		3
	化石レプリカをつくろう！	鳥取市立遷喬地区公民館	8月10日(木)	10	13
	川原の石をしらべよう！	鳥取市河原町和奈見 千代川川原	8月11日(金)	15	15
	岩石なんでも同定団	鳥取大学	8月19日(土)		40
	ミニバタフライガーデンで蝶々の観察	東郷湖羽合臨海公園 浅津公園 バタフライガーデン	8月26日(土)		10
	化石レプリカをつくろう！	鳥取砂丘こどもの国	8月26日(土)		150
	青谷学	青谷高等学校ほか	9月6日(水)		15
中国5県自然観察指導員交流会2023	奥大山休暇村(日野郡江府町鏡ヶ成)	9月8日(金)～9月10日(土)		54	
青谷学	青谷高等学校ほか	9月20日(水)		15	
絶滅危惧種と危険生物	西円通寺児童館	9月23日(土)		7	

	テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
自然	化石調査	八頭郡若桜町つく米周辺	10月1日(日)	20	22
	出合いの森トンボレース2023	出合いの森	10月1日(日)		22
	理数科課題研究外部講師授業「ふしきな生きもの変形菌」	島根県立大田高等学校(島根県大田市大田町)	10月3日(火)		7
	恐竜の“歯、	当館1階自然常設展示室	10月5日(木)		6
	生き物観察会	とっとり出合いの森	10月15日(日)		11
	青谷学	青谷高等学校ほか	10月18日(水)		15
	フィールドワーク学習「鳥取駅周辺に生息する水棲生物・菌類の観察」	鳥取鉄道記念物公園周辺(鳥取市扇町)	11月1日(水)	30	32
	鳥取県の化石	鳥取市気高町浜村	11月2日(木)	10	10
	おちばの中の虫さがし!	とっとり出合いの森	11月5日(日)		9
	湖山小学校PTC「化石レプリカをつくろう!&砂つぶトレジャーハンティング!」	湖山小学校	11月11日(土)		78
	牧野富太郎博士も大好きケンポナシを探せ!若桜鬼ヶ城	若桜鉄道若桜駅~若桜鬼ヶ城	11月19日(日)		6
	植物の陸上進出	鳥取大学	11月21日(火)		80
	6年生理科「大地のつくりと変化」	米子市立住吉小学校	11月22日(水)		60
	生物の進化と多様性	鳥取県立博物館2階会議室、自然常設展示室	12月5日(火)		49
	十神林道自然観察会	鳥取市久松山(十神林道~山頂)	12月9日(土)		13
	猪の生態、解剖、食文化について学ぶ	自由学舎ハーモニィンドレ	12月14日(木)		10
	青翔開智Museum企画展「進化を探る」	青翔開智中学校・高等学校	12月18日(月)		48
	宮ノ下化石	鳥取市立国府中学校	12月21日(木)		49
	鉱物の実験	鳥取市立宝木小学校	12月22日(金)		3
	姫路科学館「自然系ジュニア学芸員講座」テーマ:土壌動物	姫路科学館(姫路市青山)	1月14日(日)	15	12
	みんなでおしゃべり6(山陰海岸ジオパーク関連イベント)	鳥取大学	1月19日(金)	25	25
	湖山池の野鳥の観察	湖山池青島	1月20日(土)		6
	観て触って城山ツアー	米子市湊山公園米子城跡	1月21日(日)		18
	冬の野鳥観察	湖山池情報プラザ・青島	1月30日(火)		14
	土の中の微生物の観察	鳥取市立青谷中学校	2月2日(金)		28
	鳥取県の化石	米子市立和田小学校	2月21日(水)		35
	わくわく自然体感 久松山~二ノ丸の自然観察	県立博物館~鳥取城二の丸跡	3月3日(日)		51
	自然観察指導員講習会 No.606 岡山県・玉野市	岡山県渋川青年の家(玉野市)	3月9日(土)	50	64
	鳥取県の化石	鳥取市立青谷中学校	3月15日(金)		30

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
自然	春の野草観察会	かちべ伝承館	3月23日(土)		6
人文	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	4月1日(土)、2日(日)		39
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	5月6日(土)、7日(日)	40	40
	近世鳥取城の火災と復興	河原町コミュニティセンター	5月11日(木)	60	50
	『灘手郷土史』を読む—昔の風俗・習慣を中心に—	灘手コミュニティセンター	5月19日(金)		13
	倉吉の郷土玩具 県立博物館の資料から	打吹回廊(倉吉市明治町)	5月26日(金)		15
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	6月3日(土)、4日(日)	42	35
	総合学習「鳥取県の祭り」	美保小学校	6月22日(木)	100	100
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	7月1日(土)、2日(日)		30
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	8月5日(土)、6日(日)	42	32
	甲冑の構造	鳥取中央育英高校	8月18日(金)	7	7
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	9月2日(土)、3日(日)		42
	鳥取県再置の山縣有朋復命書を読む	ハワイアロハホール	9月28日(木)	60	70
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	10月7日(土)、8日(日)		25
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	11月4日(土)、5日(日)		35
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	12月2日(土)、3日(にち)		36
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	1月6日(土)、7日(日)		40
	ゲストティーチャー「鳥取県の祭り」	八頭町立船岡小学校	1月25日(木)	24	24
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	2月3日(土)、4日(日)		40
	ワークショップ「昔の遊び 凧あげ」	鳥取市立宝木小学校	2月21日(水)	9	9
	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	3月2日(土)、3日(日)		40
鳥取藩の参勤交代と美保南地区	美保南地区公民館	3月24日(日)		35	
美術	コレクション宅配便	鳥取看護大学	5月11日(木)		82
	コレクション宅配便	みなとテラス	5月21日(日)		70
	コレクション宅配便	鳥取短期大学	6月13日(火)		27
	コレクション宅配便	宮下地区公民館	6月15日(木)		10
	コレクション宅配便	奥大山江府学園	7月7日(金)		16
	コレクション宅配便	境港市立第2中学校	7月11日(火)		93
	コレクション宅配便	郡家西小学校	7月19日(水)		53

テーマ		場 所	期 日	定員	参加人数
美術	ワークショップ「スタンプであそぼ」	中浜公民館	8月8日(火)		36
	ワークショップ	余子公民館	8月10日(木)		9
	ワークショップ	春日公民館	8月18日(金)		9
	コレクション宅配便	岸本中学校	9月21日(木)		64
	コレクション宅配便	和田小学校	10月31日(火)	91	91
	Walk Viewを使った美術鑑賞	岩美高校	1月24日(水)		9
	コレクション宅配便	若葉台小学校	1月30日(火)		206
	コレクション宅配便	青翔開智高等学校	1月31日(水)		50
学習支援	親子新聞教室	博物館会議室, 博物館展示室	8月19日(土)		19
合 計 99 回					3,261

(オ) 教員向けイベント

テーマ	場 所	期 日	定員	参加人数
教員のための博物館の日2023	博物館講堂、会議室、展示室	8月3日(木)		75
合 計 1 回				75

(カ) 普及講座・講演会

● 自然部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《自然講座》ティラノト——ク!	大山総合体育館	4月15日(土)		50
《野外観察会》鉱物をさがそう! in 上地鉱山跡	鳥取市国府町上地	4月30日(日)	20	32
《野外観察会》自然観察さいしょの一步	倉吉市打吹山	5月20日(土)	20	21
《野外観察会》生物学会員と歩くいきもの観察会 in 船上山	船上山	5月28日(日)	30	32
《野外観察会》昆虫観察入門~初夏の虫をさがそう!~	博物館会議室&博物館周辺	6月4日(日)	40	40
《野外観察会》探して調べる、久松山の変形菌	博物館会議室&博物館周辺	7月2日(日)	12	13
《野外観察会》夜の昆虫観察	倉吉博物館	7月8日(土)	20	中止
《天体観望会》夏の星を見る会	博物館多目的広場	7月22日(土)		60
《自然講座》砂つぶトレジャーハンティング!	博物館会議室	7月23日(日)	40	36
《自然講座》昆虫の標本をつくろう!	博物館会議室	7月30日(日)	40	33
《自然講座》標本を調べる会	第3特別展示室	8月5日(土)		13
《自然講座》昆虫の体のつくりをしらべよう!	博物館会議室	8月6日(日)	40	35
《ギャラリートーク》レッドデータブックとつとりの生き物	北栄みらい伝承館	8月12日(土)		15
《自然講座》鉱物結晶をつくってみよう★	博物館会議室	8月13日(日)	40	36
《自然講座》チリメンモンスターをさがそう!	博物館会議室	8月20日(日)	40	39

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《自然講座》ふわふわ！キラキラ！鳥の羽を楽しもう	博物館会議室	8月27日(日)	20	17
《野外観察会》化石をさがせ！in多里	日野郡日南町多里	9月24日(日)	20	16
《国際シンポジウム》「エゾオオカミとタスマニアタイガー～日豪の絶滅動物から考える人と自然の新しい関係～」	鳥取県立博物館講堂、アデレード大学(オンライン)	10月6日(金)	150	130
《野外観察会》きのこを調べる会	大山町大山寺地区	10月7日(土)	20	27
《天体観望会》秋の星を見る会	多目的広場	10月14日(土)	50	中止
《野外観察会》鉱物をさがそう！in百谷鉱山	鳥取市百谷	10月22日(日)	20	30
《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう！	打吹山	10月29日(日)	20	8
《自然講座》描いてみよう！サイエンス生物画	博物館会議室	11月3日(金)	20	16
《自然講座》あっと、ときめくコケ観察会	倉吉市関金町山守集学校(旧山守小学校)	11月11日(土)	24	20
《シンポジウム》「辰巳峠」は昆虫化石の宝庫！	博物館講堂	12月2日(土)	250	90
《野外観察会》はじめてのバードウォッチング	湖山池	12月10日(日)	20	17
《自然講座》化石キャンドルをつくろう！	博物館会議室	12月24日(日)	20	中止
合 計 27 回(うち3回中止)				826

● 人文部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《歴史講座》「幕末の大廊下席大名—安政四年の鳥取藩を題材として—」	博物館会議室	4月8日(土)		24
《歴史講座》「南条元統の基礎的研究」	博物館会議室	5月13日(土)		30
《歴史講座》伯耆往来をあるく 東山公園～陰田	米子市	5月21日(日)	20	20
《歴史講座》「天狗党の争乱と鳥取藩～京都留守居安達清一郎を中心として～」	博物館会議室	6月10日(土)		24
《歴史講座》「法勝寺川中流域を中心とした弥生時代社会の特質」	博物館会議室	7月8日(土)		14
《歴史講座》ふすまの下のお宝をさがそう	博物館会議室	8月11日(金)	10	14
《歴史講座》「因州鳥取藩蔵屋敷武士と町人のおつきあい—大坂発着時のモノの授受—」	博物館会議室	8月12日(土)		20
《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	8月20日(日)	20	31
《歴史講座》「消えた南条氏—関ヶ原の戦い(1600)以前、文禄の役の帰陣後(1593)に除封となるか—」	博物館会議室	9月9日(土)		34
《ギャラリートーク》勾玉の世界展ギャラリートーク	博物館展示室	10月7日(土)	40	32
《ワークショップ》勾玉づくり	博物館会議室	10月8日(日)	40	37
《歴史講座》「要蔵デコ盛衰史—鳥取の郷土玩具をめぐる文化人の交流」	博物館会議室	10月14日(土)		20
《ギャラリートーク》勾玉の世界展ギャラリートーク	博物館展示室	10月14日(土)	40	30
《ワークショップ》勾玉づくり	博物館会議室	10月15日(日)	40	41

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《ギャラリートーク》勾玉の世界展ギャラリートーク	博物館展示室	10月28日(土)	40	36
《ワークショップ》勾玉づくり	博物館会議室	10月29日(日)	40	33
《ギャラリートーク》勾玉の世界展ギャラリートーク	博物館展示室	11月4日(土)	40	40
《ワークショップ》勾玉づくり	博物館会議室	11月5日(日)	40	35
《歴史講座》「中世後期日野山名氏の動向」	博物館会議室	11月11日(土)		34
《歴史講座》古戦場・山城・荘園をあるく―法勝寺と尼子・三沢氏―	南部町法勝寺周辺	11月12日(日)	20	15
《歴史講座》「明治26年の水害について」	博物館会議室	12月9日(土)		16
《歴史講座》東伯耆の大庄屋について	博物館会議室	12月17日(日)		20
《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	12月24日(日)	20	30
《歴史講座》「地域資料の継承について―県東部の家資料の一事例―」	博物館会議室	1月13日(土)		15
《歴史講座》古文書のかたち～読まないでわかる文書の世界～	博物館会議室	1月14日(日)	20	12
《講演会》「近世山陰の実録体小説をめぐって」	博物館講堂	2月10日(土)		45
《歴史講座》江戸時代の古文書を楽しむ	博物館会議室	2月18日(日)	20	20
《歴史講座》「鳥取市の力士塚」	博物館会議室	3月9日(土)		20
《民俗講座》ワークショップ「凧をつくろう」	西円通寺児童館	3月9日(土)		9
合 計 29 回				751

● 美術部門

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《ワークショップ》らくがきばんざい!春編	博物館前庭	4月30日(日)		26
《アートシアター》ストーリーカー	博物館講堂	5月13日(土)	100	40
《アートシアター》ストーリーカー	博物館講堂	5月14日(日)	100	30
《アートセミナー》「館蔵品を読み解く」(工芸編)	博物館会議室	5月28日(日)	20	8
《アートセミナー》「館蔵品を読み解く」(素描編)	博物館会議室	6月24日(土)		4
《アートシアター》見えるもの、その先に、ヒルマ・アフ・クリントの世界	博物館講堂	8月26日(土)	100	15
《アートシアター》見えるもの、その先に、ヒルマ・アフ・クリントの世界	博物館講堂	8月27日(日)	100	28
《アートセミナー》「館蔵品を読み解く」(近世絵画編)	博物館会議室	9月16日(土)		12
《ワークショップ》らくがきばんざい!秋編	博物館前庭	9月24日(日)		93
《アートイベント》オープニング・アーティスト・トーク	博物館講堂	11月26日(日)	200	95
《アートイベント》高山明による《マクドナルドラジオ大学》イントロダクション	博物館講堂	11月26日(日)	30	31
《アートシアター》パウハウス 原形と神話	博物館講堂	12月9日(土)	100	8
《アートシアター》パウハウス 原形と神話	博物館講堂	12月10日(日)	100	7

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《アートイベント》アーティスト・トーク	博物館講堂	12月17日(日)	200	71
《アートイベント》トークイベント「ヤギの目、ヤギ先輩と語る。」	博物館展示室	12月23日(土)	50	59
《アートシアター》HOKUSAI	博物館講堂	1月13日(土)	100	19
《アートシアター》HOKUSAI	博物館講堂	1月14日(日)	100	9
《アートセミナー》「館蔵品を読み解く」(現代美術編)	博物館会議室	1月21日(日)		6
《ギャラリートーク》根本幽峨展ギャラリートーク	博物館展示室	2月10日(土)		50
《ワークショップ》体験!体感?日本美術のミカタ for ビギナーズ	博物館会議室, 博物館展示室	2月23日(金)	20	18
《講演会》特別講演会Ⅰ「鳥取画壇よもやま話—鳥取藩絵師・根本幽峨誕生の背景」	博物館講堂	2月24日(土)	250	97
《講演会》特別講演会Ⅱ「根本幽峨の画業—狩野派に学び藩絵師としてはばたく」	博物館講堂	3月9日(土)	250	53
《ギャラリートーク》根本幽峨展ギャラリートーク	博物館展示室	3月16日(土)		40
《ワークショップ》体験!体感?日本美術のミカタ for ビギナーズ	博物館会議室, 博物館展示室	3月16日(土)	20	12
合 計 24 回				831

●学習支援

行 事 名	場 所	期 日	定員	参加人数
《企画展開連講演会》「のぞいてみよう!アインシュタインの頭の中」	博物館講堂	7月1日(土)		60
《企画展開連企画》ミニプラネタリウムがやってくる	博物館展示室	7月15日(土)		81
《企画展開連企画》ミニプラネタリウムがやってくる	博物館展示室	7月16日(日)		82
《企画展開連企画》ミニプラネタリウムがやってくる	博物館展示室	7月17日(月)		95
《サイエンスショー》光の三原色RGBのヒミツをさぐれ!	博物館講堂	8月12日(土)		250
合 計 5 回				568

総参加者数	7,491
-------	-------

エ 調査研究活動

分野	事項
地学	鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究
動物	鳥取県の動物相および動物の分類に関する調査研究 鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
植物	鳥取県の植物相および植物の分類に関する調査研究
考古	館蔵品の調査研究 鳥取県内の原始・古代の遺跡の調査研究
歴史	天正9年（1581年）鳥取城の戦いにおける「兵糧攻め」（日本におけるリフィーディング症候群の最初の記述）の研究
民俗	鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究
美術	鳥取県に関係した美術資料、作家や作品等に関する調査研究 令和5年度企画展（「創造的対話展04」「根本幽巖」）、共同企画展、および令和6年度企画展（「アートって、なに？」）等に関する調査研究
教育普及	鳥取県立博物館「ふるさとキャリア教育」学習支援プログラムの開発に関わる研究、デジタルアーカイブに関する研究

18 博物館資料保有状況 *令和4年度分まで「動物」として一括表記していたものを分割した。

(単位：点)

区分	前年度末 保有点数	本年度増加点数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購入	寄贈	採集	保管換	分類換		
地学	8,631		2					8,633
動物*	9,305	2	10	3				9,320
昆虫*	27,211		12	54				27,277
植物	56,271	1	663	101				57,036
歴史	59,054	16	197		399			59,666
近現代資料	8,403	8	2					8,413
民俗	4,293		63					4,356
考古	8,292							8,292
美術	10,618	1						10,619
合計	192,078	28	949	158	399	0	0	193,612